

部づつ差し送りました。

景品金高六圓參拾六錢

内譯

金參圓五拾錢

金五拾錢小爲替證書七枚

金貳圓拾錢

文のかさぶり七部

金四拾錢

雜誌四部

金參拾六錢

日露戰爭讀本參部

外に景品送附料小爲替手数料金は皆様から戴いた郵券で拂ひました餘金はフレール會に寄附

いたしました

解答者が少くて遺憾でありました然し景品は御約束通りよりは多くいたしました解答してくださつた御方様に厚く御禮申し上げます

以上

三河國西加茂郡筋生村字黒笹

近藤登喜子

狐と虎

狐と虎と出遭つて、どつちが豪いといふ議論が始まりました。狐は「虎さん何といつたつて、僕の方豪いよ、其證據を見せるから、今から、僕の後についてきてごらんさい、」といひますと、虎は「それじゃ一所に行つて見よう」といふので、狐の後について行きました。すると野山の獸どもは、四方八方に逃げ散つて行きます。狐は後向いて、虎さん、どうだ僕の威勢は豪いものだらう」といひますと、虎は「なる程」といつて感心しました。併し、皆の怖がつたのは、實は狐でなくて後について居た虎であつたのを虎自身では知らなかつたのです。